

# 自動スタイル割り当て

ご存知でしたか?... 図形オブジェクトの要素にアタッチされた各属性値に対して、描画スタイルを自動的に作成し、割り当てることができます。

## 自動スタイル割り当てによって...

- ポイントに対してあらかじめ定義されたシンボル、ラインの塗りの色やポリゴンの塗り潰しを設定できます。
- カラーパレットを選択して属性に対してランダムに色を割り当てることができます。
- 各要素タイプに対して、最初と最後の色を決めてカラースプレッド (連続色) を適用することができます。
- ポイントシンボル、ライン要素、ポリゴンの線に対して、大きさや線幅を連続的に変えられます。



右図の自動スタイルを下のポリゴン属性に適用しています。

このボタンをクリックすると、〈スタイルエディタ (Style Editor)〉ウィンドウが開き、新規スタイルの作成や自動生成されたスタイルや既存のスタイルを編集できます。

クリックして、ポリゴンの線や塗りに対してランダムカラーやカラースプレッドを適用できます。

ポリゴンの塗り潰しカラーの透明度をパーセントの値で入力します。

このパネルを使うと、ポリゴンの線の線幅を指定した範囲でランダムまたは連続的に変えられます。

## 自動スタイル割り当ての方法

- オブジェクトの右マウスボタンメニューから [コントロール (Controls)] を選択します。
- 希望する要素タイプのタブをクリックします。
- [スタイル (Style)] を [新規-属性による (New - by Attribute)] にします。
- [属性 (Attribute)] ボタンをクリックして、スタイルを割り当てるデータベーステーブルとフィールドを選択します。
- 〈属性によるスタイルの割り当て (Assign Styles by Attribute)〉ウィンドウの [自動 (Automatic)] タブをクリックします。
- 属性に自動で割り当てられた色を使うか、あるいは線幅や色、透明度、範囲などを調整します。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください：空間データの表示

自動スタイル割り当てオプション  
(Automatic Style Assignment Options)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS  
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14  
紀伊国屋ビル 1F  
Tel: (03)3623-2851  
Fax: (03)3623-3025  
E-mail: info@opengis.co.jp

